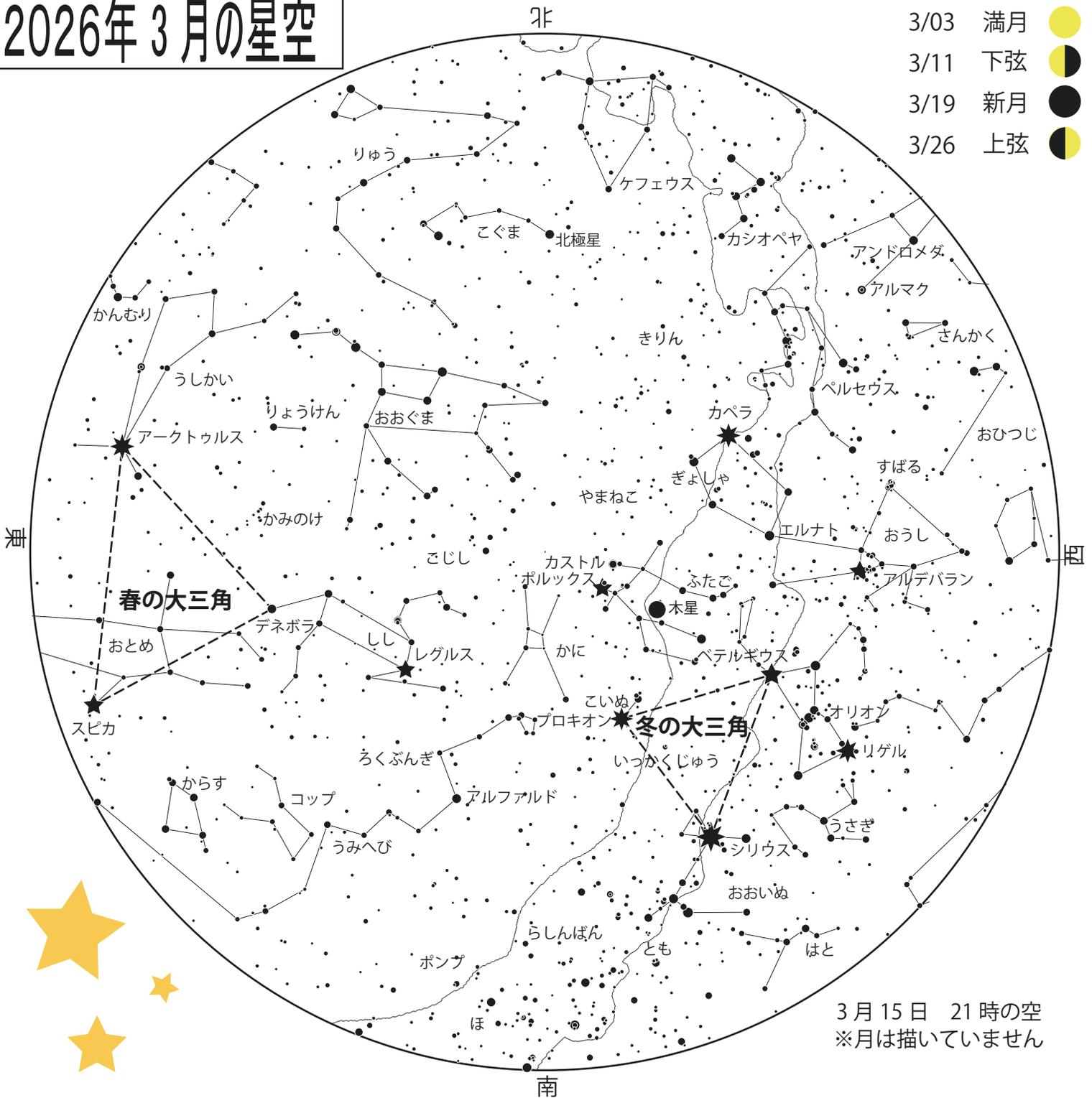


姫路で見る 2026年3月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 3/03 満月 
- 3/11 下弦 
- 3/19 新月 
- 3/26 上弦 



3月15日 21時の空
※月は描いていません

3日のひな祭りの夜に「皆既月食」が起こります。月が地球の影に入ってしまう現象で、赤い光が屈折して入り込むので月は鮮やかな赤銅色になります。月の一部が影にかかる「部分食」は19時49分に始まり、満月全体が赤銅色になる「皆既食」は20時04分から21時3分まで続き、「部分食」が終わるのは22時17分と、「月食」のすべてが見やすい時間帯に起こります。

西の空には冬の1等星たちが様々な色で明るく輝いています。天頂付近の黄色い**カペラ**は、五角形の**ぎょしゃ座**の抱く雌山羊の星です。橙色の**アルデバラン**は**おうし座**の牛の顔にあり、青白い「散開星団」の**プレアデス(すばる)**は牛の肩を作っています。睨み合っているのが**オリオン座**で、リボンを縦にしたような星の並びの中で、赤い**ベテルギウス**と青白い**リゲル**が目立っています。**ベテルギウス**と**おおいぬ座**の白い**シリウス**、**こいぬ座**の黄白色の**プロキオン**を結ぶと、「冬の大三角」になります。**ふたご座**では黄色の**ポルックス**と白い2等星の**カストル**が仲良く輝き、明るく光る**木星**と共に豪華な星空を作っています。北や南の夜空には、冬眠から目覚めた**おおぐま座**や**うみへび座**が姿を現し、東の空の**しし座**・**おとめ座**などと共に星空は春らしくなってきます。